

3. 配慮事項

3-1 豊岡道路計画における配慮事項

豊岡道路アンケート調査結果及び懇談会での意見を踏まえ、豊岡道路に求められる機能ごとに豊岡道路計画における配慮事項をとりまとめた。

豊岡道路計画における配慮事項を以下に示す。

地域を活性化させ、環境と暮らしを守ることに配慮した計画		
地域を活性化	所要時間の大幅短縮	<ul style="list-style-type: none"> ・時間短縮効果の大きい高規格幹線道路として整備する ・近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路と連携し、将来、鳥取豊岡宮津自動車道が計画されれば接続し、高速道路ネットワーク全体の機能向上と、京阪神との時間短縮により、但馬地域を活性化させる道路とする ・地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める
	観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬の自然環境を活かした観光資源へのアクセス向上、広域的な観光周遊の円滑化により、観光活性化を支援する道路とする
	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・産業・物流拠点や市中心部とのアクセス向上が図られる計画とする
	生活道路の渋滞緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の渋滞を緩和するとともに、交通事故を削減する
環境と暮らしを守る	交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の機能と利便性や経済性と、環境や景観とのバランスを考慮したルート・構造とする
	自然・環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の豊かな地域の道路であり、地形改変ができるだけ少ないルート・構造とする ・環境影響評価実施時に、動植物の調査を十分行って適切な対応を図る
	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の頂点にあるコウノトリやオオタカでも暮らせるような生物多様性のある生態系ネットワークに配慮した計画とし、動植物との共生が図れるように、生息・生育地の分断をできるだけ避けて計画する
	貴重野生生物との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリの利用頻度の高い餌場（福田・栃江の水田）はできるだけ大きなまとまりで残すルートにするとともに、コウノトリなどと車の衝突を防ぐ配慮を行う ・オオタカの営巣期高利用域は避けて計画する
	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地等の生活環境への影響をできるだけ及ぼさないようなルート・構造とする
	環境負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の建設や管理にともなう環境負荷を軽減する配慮を行う
	景観との調和	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬の景観と調和しながら、魅力的な景観を創出するルート・構造とする
	災害時の輸送道路確保	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時においても寸断しにくい道路とし、緊急輸送道路の確保及び但馬空港にある広域防災拠点との連絡を確保して、災害時の市民の命を守り、災害時の生活圏の孤立を防ぐ道路とする ・大雨でも浸水しない高さで計画するとともに、軟弱地盤の通過延長が短いルートとする
	地域医療の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域唯一の第3次救急医療施設である豊岡病院付近にインターチェンジを計画する
	冬季交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季の快適な交通サービスを支えられる様に、積雪時の交通確保に配慮した計画とする ・融雪対策を行う際には、環境への負荷軽減に配慮する
市街地の改変など	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会活動及び生活環境への影響に配慮し、公共施設や住宅等を可能な限り避けたルート・構造とする ・優良農地の通過延長をできるだけ短くするルートとする ・地域の墓地や文化財等に配慮した計画とする 	



・空港北西部でオオタカの営巣が確認されており、今後、影響の小さいルート・構造を検討します。

・コウトリの餌場に配慮し、水田部はできるだけ西側を通過させました。今後、コウトリなどと車の衝突を防ぐ配慮を行います。また、生物の生息環境の連続性に配慮します。
 ・コウトリの飛行高度を考慮した縦断計画を行います。
 ・平成16年台風23号の浸水箇所は、浸水しない高さで計画します。
 ・農地の通過延長、軟弱地盤の通過延長が最短となるルートとしました。
 ・今後、地質調査を実施して、軟弱地盤に対応した構造を検討します。

・生活環境への影響をできるだけ及ぼさないように計画します。

・地形改変を少なくするため、トンネル構造を検討します。

・点在する墓地、水源、幸せ地蔵について、できるだけ支障しないように計画します。やむを得ず支障する場合には、適切に対応します。

・豊岡病院付近で、かつ、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを設置します。
 ・市街地からのアクセスとして、国道426号（今森高屋下陰線）と豊岡道路の連絡について検討します。

・集落からの景観に配慮します。

・岩井・栃江・新堂他、既知の古墳、埋蔵文化財等を通過する場合には所定の調査を行います。

・集落を避けた位置で国道178号に接続するルートとしました。

・地滑り危険箇所であり、地形改変の少ないルート・構造にするとともに、十分な安定検討を行います。

・市街地西側の山地部に計画しました。

・山と谷が繰り返し現れる区間であり、かつ、地滑り危険箇所があることから、地形改変の少ないルート・構造にするとともに、十分な安定検討を行います。

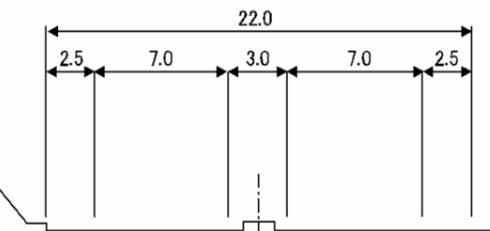
・生活環境への影響をできるだけ及ぼさないように計画します。

・砂防指定地内の計画及び工事の実施については、関係機関と十分な調整を行います。

・景観に配慮して、谷奥で奈佐川を直角に短く通過し、地形改変の少ないルートとしました。
 ・但馬地域の魅力ある景観に配慮して計画します。



・土工部は堆雪幅を確保した路肩幅(2.5m)で計画します。
 ・必要に応じて融雪装置の設置等を検討します。〔盛土、切土〕



凡例 1

項目	記号	内容
A. 自然		コウトリ野生復帰事業（農業農村整備部門）の対象地区
		コウトリ放鳥拠点
		冬期湛水・ピオトップ実施地区
		人工集積
B. 社会環境		放鳥コウトリが舞い降りた地点（東以西）
		学校・主要施設
C. 文化財等		指定文化財
		遺跡
D. 公共施設等		寺社・墓地
		空港、鉄道駅、浄水場、清掃センター等
E. 防災関連		浸水区域（平成16年台風23号における浸水被害区域）
		急傾斜地危険箇所区域（豊岡市防災マップ）
		地すべり危険箇所（豊岡市防災マップ）
		山腹崩壊危険箇所（豊岡市防災マップ）
		砂防指定地
		土石流危険渓流
		龍見川堰堤

凡例 2

記号	内容
	国道
	主要地方道
	一般県道
	鉄道

(至) 竹野・鳥取

(至) 養父・朝来

(至) 城崎

(至) 城崎

(至) 宮津